

平成23年度 名寄市の決算 (概要)

「成長と雇用の実現」「デフレ脱却への道筋」「国民の生活を第一に」「確固たる戦略に基づく予算編成」の基本理念のもとで編成された平成23年度の国の予算における地方財政計画の規模は前年度比0.5%増の82兆5,054億円となりました。このうち、地方交付税は、前年度比2.8%増の17兆3,734億円となりました。

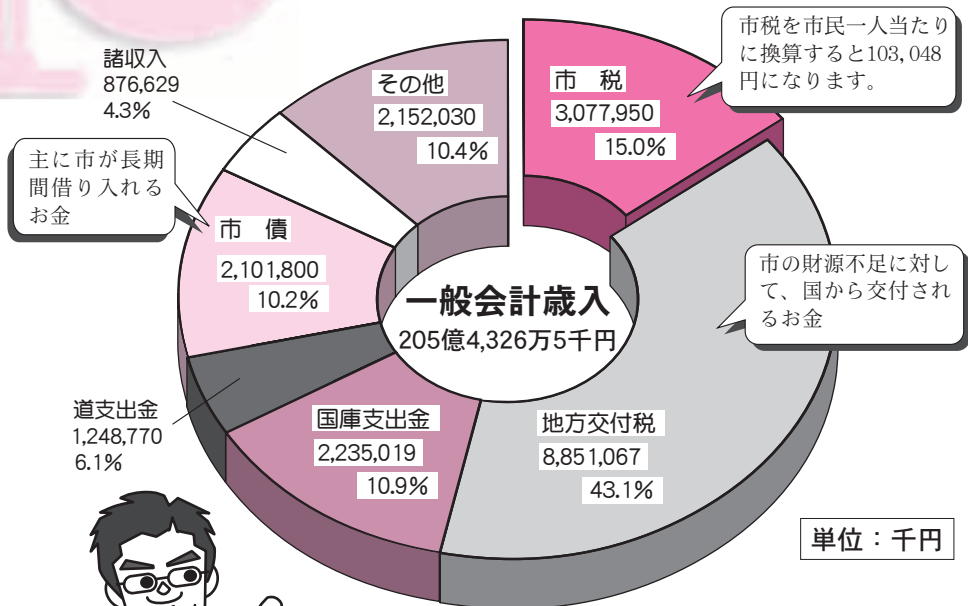
名寄市の平成23年度の各会計当初予算は、財産を活かしたまちづくりによる総合的な地域振興、観光振興などの推進を念頭に、総合計画の具現化を最優先に予算編成を行いました。

主な事業では、ハード事業では、農畜産物処理加工施設整備事業、玄米バラ集出荷施設整備事業、(仮称)複合交通センター整備事業、北斗・新北斗公営住宅建設事業、(仮称)市民ホール整備事業などを、また、ソフト事業では、総合計画後期計画策定に係る関連経費、不登校児童生徒への支援を充実させる教育相談推進事業、総合的な地域振興、観光振興などを推進するための営業戦略推進事業など多くの事業を計上いたしました。

一般会計の決算総額は歳入額が205億4,326万5千円、歳出額が201億6,210万7千円で、歳入歳出差引3億8,115万8千円の黒字となり、翌年度へ繰り越しすべき3,854万5千円を差し引いた実質収支は3億4,261万3千円となりました

歳入決算額は、前年度と比べて市税全体で58,317千円(-1.9%)の減少、地方交付税においても149,241千円(-1.7%)減少しましたが、国庫支出金や道支出金、市債の増加により歳入全体では87,439千円(+0.4%)の増加となりました。

市税などを含む自主財源は99,260千円の減少、地方交付税などを含む依存財源は186,699千円の増加となりました。



市税を市民一人当たり
に換算すると103,048
円になります。

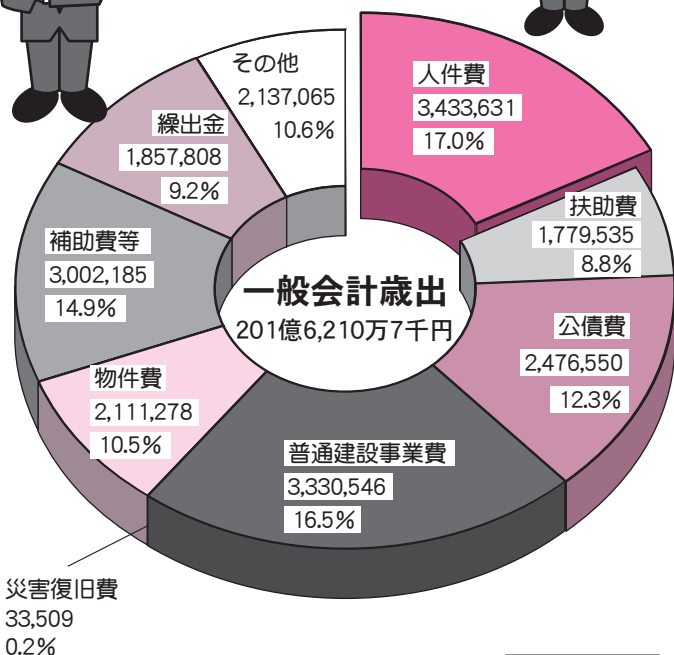
主に市が長期
間借り入れる
お金

市の財源不足に対し
て、国から交付され
るお金



歳出決算額は、前年度と比べて平成22年度が3年に一度の退職手当組合精算年度であったことなどにより、人件費が357,192千円(-9.4%)の減少となりましたが、維持補修費は施設の老朽化や除雪経費の増加により152,478千円(31.1%)の増加、普通建設事業費は農畜産物処理加工施設整備事業や玄米バラ集出荷施設整備事業などの大型事業に伴い1,006,328千円(43.3%)の増加、歳出全体では36,263千円(0.2%)の増加となりました。

人件費・扶助費・公債費を合わせた義務的経費の割合は38.1%で投資的経費は16.7%となりました。



名寄市の財政力

- 財政力指数 (3年平均) → 0.280悪化 (前年度0.288)
※1.0に近いほど財政力が強い。
- 経常収支比率 → 84.5%悪化(前年度80.2%)
※財政の弾力性を示す、経常的な支出と収入の割合
- 実質公債費比率 → 14.8%改善(前年度16.4%)
※18%を超えると起債借入に北海道知事の許可が必要となり、25%を超えると起債発行が一部制限されます。

■平成23年度の決算を公表します

各会計決算総括表

区 分		歳入決算額	歳出決算額	差引額
一 般 会 計		20,543,265千円	20,162,107千円	381,158千円
特 別 会 計	国 保	3,364,601千円	3,283,452千円	81,149千円
	保 険 事 業 勘 定 直 診 勘 定	185,275千円	185,275千円	—
	介 護	2,124,390千円	2,101,542千円	22,848千円
	保 険 事 業 勘 定 サ ー ビ ス 事 業 ・ 名 寄	226,745千円	226,745千円	—
	サ ー ビ ス 事 業 ・ 風 連	99,923千円	99,923千円	—
	下 水 道 事 業	1,168,438千円	1,168,438千円	—
	個 別 排 水 処 理 施 設 整 備 事 業	76,713千円	76,713千円	—
	簡 易 水 道 事 業	40,361千円	40,361千円	—
	公 設 地 方 卸 売 市 場	38,779千円	38,779千円	—
	食 肉 セ ン タ ー 事 業	19,566千円	19,566千円	—
後 期 高 齢 者 医 療	298,804千円	298,804千円	—	
計	7,643,595千円	7,539,598千円	103,997千円	
一 般 会 計 + 特 別 会 計		28,186,860千円	27,701,705千円	485,155千円
企 業 会 計	病 院 事 業 会 計	7,698,113千円	7,986,044千円	
	水 道 事 業 会 計	589,287千円	586,081千円	

※決算の剰余金については、国民健康保険会計では全額を平成24年度に繰り越し、介護保険会計では、全額を介護給付費準備基金に積み立てしました。これ以外の特別会計は一般会計との調整で収支が一致しています。

※企業会計の決算額に消費税は含まれません。



一般会計とは

市の財政は一般会計、特別会計、企業会計からなっており、土木費や教育費など、行政運営の基本となる会計のことをいいます。

特別会計とは

特定の事業やサービスを提供するために、利用者からいただいた保険料や使用料などを財源として事業を運営するために設けられた会計のことをいいます。

企業会計とは

自ら事業を行い、その事業で得た財源で運営する、民間企業と同様の経理をする会計のことをいいます。

平成23年度に行った主な事業

- ・ 農畜産物処理加工施設整備事業 1,033,054千円
- ・ 玄米バラ集出荷施設整備事業 213,096千円
- ・ (仮称)複合交通センター整備事業 102,015千円
- ・ 北斗・新北斗公営住宅整備事業 289,808千円
- ・ (仮称)市民ホール整備事業 75,969千円
- ・ 風連庁舎整備事業 76,220千円
- ・ 19線道路舗装新設事業 78,092千円
- ・ 豊栄西10条仲通改良舗装事業 47,942千円
- ・ エゾ鹿駆除対策事業 6,029千円

主な市有財産の現在高
(平成24年3月31日現在)

- ・ 土 地 4,040万2,091㎡
- ・ 内 山 林 2,577万7,078㎡
- ・ 建 物 31万233㎡
- ・ 有価証券 3,371万円
- ・ 債 権 1億4,472万円
- ・ 基 金 58億8,445万円

名寄市の貯金と借金

貯金にあたるものとしては基金があります。平成24年5月31日現在では一般会計と特別会計合わせて58億8,445万円の現在高で、1人あたりにすると約19万7,000円。また借金にあたるものが地方債残高で、病院事業などの企業会計や介護保険などの特別会計を含む全会計の総額では400億6,227万円となっており、1人あたりにすると約134万1,000円となります。

※年度末人口29,869人